

第26回生命の駅伝 報告書



報告と御礼

実行委員長 上村真由

第26回「生命の駅伝」はコロナ禍で、例年通りの5月開催を延期して11月に開催しました。

8月半ばから準備に入りましたが、懸念事項の多い中での準備となりました。コロナ感染者数の動向、医療機関・行政機関、世論が受け入れてくれるかどうか。参加者がいるだろうか。RUNを止めて、募金活動だけをやることは可能だろうか。様々な事項について議論し、私たちは、「生命の駅伝」を今年も実施することに決定しました。それは、以下の2つの理由からです。

1つは、医療機関から「がんを疑った検査・診察の件数が減少し、症状が出てからの受診が多い。この現象はがんのみではなく、他の疾患にも多い。」という情報をいただいたことでした。過去20年余、研究者と医療者の努力により、死亡者率を抑えてきた経緯がこれからの数年で、再び増加傾向に入ってしまうのか。県民の皆さんに問わなければならない。

もう1つは、医療研究は休むことも、止めることもしてはいけない。

RUNに先立ち行われた11月14日の三重大学での市民公開講座では、前回の生命の駅伝奨励賞受賞者の丁寧な**研究成果発表**と垣添忠生先生（国立がんセンター名誉総長）の講演がありました。感動的な講演で全県民に聴いてもらいたいと強く感じました。

いざ**実施**するに際し、可能な限りの感染症対策を取りました。参加するランナー・サポーターは2週間の自己管理表と体調チェック表の提出、実施直前の顧問医師の診察、RUN中以外にはシンボルマスクを常着、休憩時などでのソーシャルディスタンス、給水は自己ボトルで。等々の約束をして、**One Team**となって、**県下29市町、医療機関など86ヶ所**を走って訪問しました。走行総距離約430km。終了2週間後、参加者から体調不良の報告は皆無でした。いずれの訪問先でも、「よくやってくれた。」とのお言葉をいただき、募金額は過去最高でした。

いただいた皆様からの募金は、12月16日に、選考された4人の研究者に届けました。来年5月には、各研究者から成果報告がなされるでしょう。三重大学医学部の協力で、私たち県民と研究者は「**誠意のキャッチボール**」ができるようになりました。

今回、もう1つのテーマ「**医療を守ろう**」を掲げて、実施しました。

COVID-19の中、未確認感染者は医療機関で受診して、検査して、はじめて感染が確認されます。医療従事者は感染の危険から逃げることはできません。医療機関はクラスターになる確率がとても高い。また、経営的に厳しい医療機関には設備・人的余裕はありません。わたしたちの医療はわたしたちで守っていかなければならない。そういった思いを訴えたいと考えたからです。

コロナ禍の中、無事に、成功裏に終えることが出来たのは、ランナー・サポーターの貢献、関係機関のご協力と県民皆様のご支援のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

「第26回生命の駅伝」 報告書

活動

拠点活動

1日 国立大学法人
三重大学(附属病院教育棟)

ロード活動

11日(三重県内29市町)

参加人数

延べ約281人
(ランナー216人、サポーター65人)

送迎式

86か所(参加者 約1,800人)



※報道各社HPより

コースと訪問施設

三重県全域29市町

2020年
11/14(土曜日) ▶ 29(日曜日)

16日(月)

いなべ市役所 ▶ いなべ総合病院 ▶ 東員町役場 ▶ 木曽岬町役場 ▶
桑名市総合医療センター

17日(火)

Aコース: 桑名市役所 ▶ 朝日町役場 ▶
川越町役場 ▶ 四日市羽津医療センター
▶ 市立四日市病院 ▶ 四日市市役所 ▶
三重県立総合医療センター
Bコース: 菰野町役場 ▶ 菰野厚生病
院 ▶ (Aコースと合流)

27日(金)

名張市立病院 ▶ 寺田病院 ▶ 名張市役所
▶ 伊賀市立上野総合市民病院
▶ 伊賀市役所・三重県伊賀庁舎
▶ 岡波総合病院 ▶ ハイトピア伊賀

29日(日)

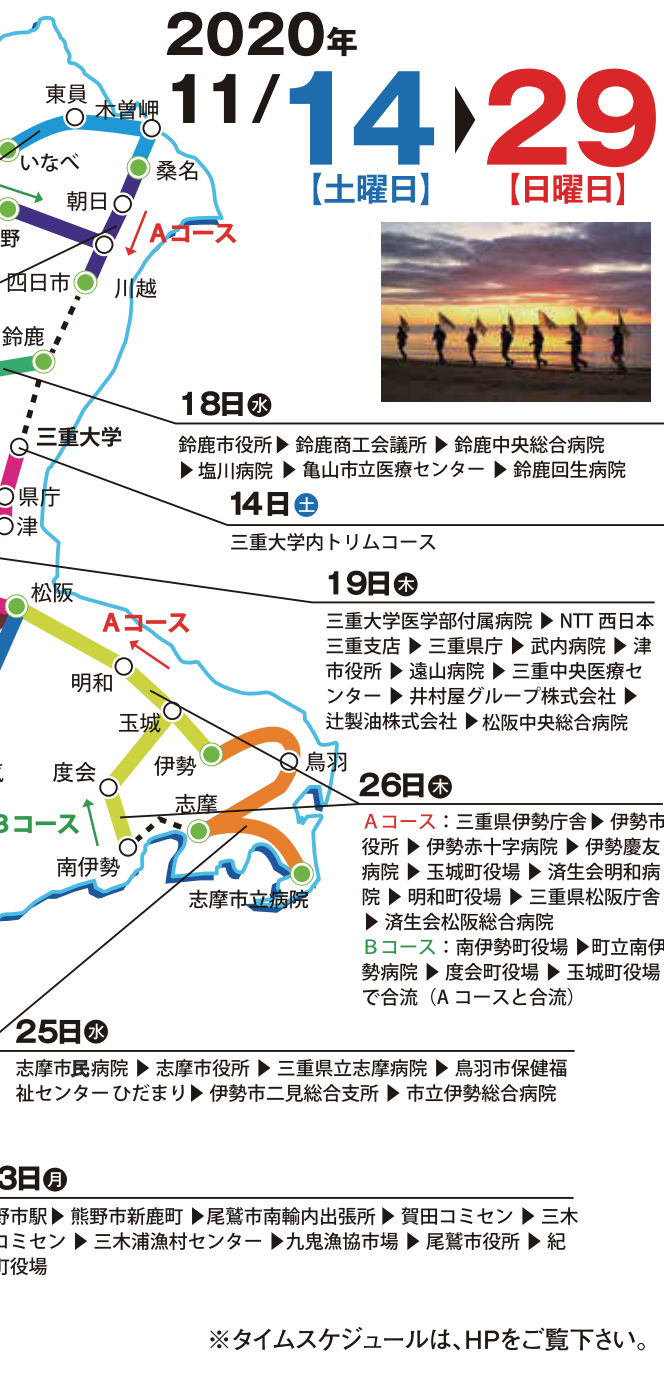
松阪市飯高振興局波瀬出張所 ▶ 道の駅
「飯高」 ▶ 道の駅「茶倉」 ▶ 大石不動院 ▶
中部台運動公園

24日(火)

大紀町役場 ▶ 大台町役場
▶ (株)大松サービシーズ ▶ 万協製薬株式会社
▶ 多気町役場 ▶ 桜木記念病院 ▶ 松阪市民病院
▶ 松阪市役所

20日(金)

紀宝町役場 ▶ ウミガメ資料館 ▶ 紀
南病院 ▶ 御浜町役場 ▶ 道の駅熊野・
花の窟 ▶ 三重県熊野庁舎
▶ 熊野市役所



※タイムスケジュールは、HPをご覧ください。

第26回生命の駅伝 募金額

2020年12月14日 現在

医療機関	金額(円)	行政機関	金額(円)	企業・その他	金額(円)
三重大学医学部附属病院	262,902	三重県庁	466,325	マスク等売上金	252,500
武内病院	60,083	鈴鹿市役所	118,315	辻製油株式会社	157,211
鈴鹿回生病院	58,847	東員町役場	62,599	尾鷲市九鬼	135,113
三重厚生連	50,000	南伊勢町役場	53,776	NTT西日本三重支店	114,591
松阪市民病院	44,247	志摩市役所	37,780	井村屋グループ株式会社	102,100
伊賀市立上野総合市民病院	41,173	伊勢市役所	37,665	万協製薬株式会社	57,774
寺田病院	40,186	桑名市役所	36,716	熊野市新鹿	50,310
三重中央医療センター	34,950	四日市市役所	35,072	尾鷲市三木浦	37,655
三重県立総合医療センター	33,277	松阪市役所	34,806	スナックちょう(三木浦)	35,240
済生会明和病院	32,260	尾鷲市役所	34,541	尾鷲市三木里	32,691
その他	377,871	その他	311,830	その他	188,697
小計	1,035,796	小計	1,229,425	小計	1,163,882

合計 3,429,103円

成果 研究奨励賞 (申請数15件、採択件数4件)

氏名	所属	プロジェクト名
齋藤 佳菜子	腫瘍内科	難治性GD2陽性固形がんに対する新たなCAR-T細胞療法の開発
中森 史朗	循環器・腎臓内科学	免疫チェックポイント阻害剤関連心筋炎のメカニズム解明および早期診断法の確立
伊藤 温志	胸部心臓血管外科	リコンビナントIrisin FCによるがん浸潤・転移抑制作用の研究
井上 貴博	腎泌尿器外科	膀胱がん細胞株を用いたゼブラフィッシュ異種移植モデルの確立

寄付

国立大学法人三重大学医学部附属病院	2,800,000円
三重大学教育研究助成金(長沼基金)	141,000円
生命の駅伝基金	488,103円





14日 三重大学



20日 雨の熊野路



14日 特別講演『がんと人生』
国立がんセンター名誉総長
垣添 忠生 先生



16日 いなべ厚生病院



17日 桑名市役所出発式



18日 鈴鹿商工会議所



17日 四日市市役所



19日 連合三重協賛金授受



19日 井村屋グループ本社



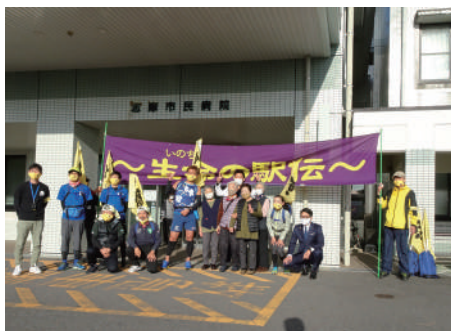
19日 辻製油株式会社



19日 三重県庁



23日 賀田コミュニティーセンター



25日 志摩市民病院



25日 鳥羽市保健福祉センターひだまり



25日 鳥羽市保健福祉センターひだまり



26日 三重県伊勢庁舎



26日 伊勢赤十字病院



26日 南伊勢町役場



26日 度会町役場



27日 名張市立病院



27日 名張市役所



27日 三重県伊賀庁舎



29日 飯高波瀬地区



29日 飯高 寒桜



29日 飯南茶倉



29日 中部台運動公園

第26回生命の駅伝 会計報告

2021年1月12日 現在

収 入		支 出	
第25回繰越金	—421,954	募金箱作成費	199,500
年会費	430,000	印刷費	460,650
協賛金	730,000	ホームページ維持費	24,750
シンボルマスク売上金	200,000	シンボルマスク製作費	200,000
		保険料	12,600
		事務費	41,005
		交通費	196,803
		雑費	83,162
合計	938,046円	合計	1,218,470円

繰越金 = 収入の部 — 支出の部

—280,424 = 938,046 — 1,218,470

*シンボルマスク収益金は、全額募金に計上しました。

第26回生命の駅伝 会員

2020年12月14日 現在

医療機関・企業		個人
小林内科胃腸科医院	村田歯科クリニック	田崎祐一（尾鷲市九鬼）
藤井整形外科胃腸科	桜木記念病院	楠 正司（尾鷲市矢浜）
のせ産婦人科	うれしの太田クリニック	九鬼俊明（熊野走らんかい）
大久保クリニック	東山胃腸内科	倉田芳夫（キッチンひなた）
南勢病院	松阪地区医師会	徳田文代（松阪市飯南町）
石田クリニック	松阪地区薬剤師会	江川真奈美（南伊勢町東宮）
嘉祥会	かいばな内科クリニック	永井一将（玉城町岩出）
とみだ整形外科	（有）三重パイピング工業	國府 靖（津市大里）
増山医院	富士土地	谷口智世（松阪市宮町）
花の丘病院	直三衣裳店	下和田恵男（実行委員 桑名）
安田小児科内科	宮園機工	中田正弘（実行委員 鈴鹿）
北島医院	清水商会	上村泰子（実行委員）
宮村医院	キハタトレーディング木の香	上村真由（実行委員）
林獣医科	株式会社キタデWOOD	
おおたクリニック	カレーの久兵衛	

*年会費(10,000)納入者

協賛

連合三重2019年度	200,000円
瀬古食品有限会社	30,000円
連合三重2020年度	200,000円
井村屋グループ株式会社	100,000円
辻製油株式会社	100,000円
万協製薬株式会社	50,000円
三重県厚生連	50,000円
小計	730,000円



※一部報道抜粋



協力

- ・一般社団法人三重県聴覚障害者協会女性部(シンボルマスク作成)
- ・橋本英幸(ポスターチラシ写真)・出口自動車(街宣車準備)・中瀬あや(街宣アナウンス)
- ・井村屋グループ(おやつ提供)・桑名市総合医療センター・小東吉久(山林舎)
- ・キッチンひなた・岩崎紀之(新鹿)

主催

- 生命の駅伝の会
会長 太田正隆(おおたクリニック院長)
副会長 玉置久雄(松阪中央総合病院名誉院長)
顧問 (就任順)

- 田島和雄 現)美杉クリニック院長 元)愛知県がんセンター研究所長
竹田 寛 現)桑名市総合医療センター理事長 元)三重大学医学部附属病院長
白石泰三 現)桑名市総合医療センター副理事長 元)三重大学医学部教授
広野光子 金つなぎの会(がん患者の会)代表
中瀬一則 三重大学医学部附属病院がんセンター長
野本由人 三重大学医学部教授
下村 誠 三重中央医療センター副院長
江角浩安 現)志摩市民病院医師 元)国立がんセンター東病院長
伊藤正明 三重大学医学部教授 元)三重大学医学部附属病院長

事務局 上村眞由 三重県松阪市鎌田町732

共催

国立大学法人 三重大学

後援

文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会
金つなぎの会

実行委員

- 松島 正也 庄司 佳伸 森川 道雄 中田 正弘
北出 恭子 下和田恵男 小林 育夫 北川 明
杉山 忠 上窪 英男 中上 修 村上知恵美
田牧 慎也 山本 泰宏 玉津 恭史 三宅 篤志
上村 眞由



シンボルマスク

※本報告書・スナップ写真他は「生命の駅伝」のHP・Facebook「生命の駅伝の会」に掲載しております。